

7月 いけざわこども クリニック通信



毎日じめじめした日が続く、梅雨明けが待ち遠しいですね。七夕にむけてクリニックでは短冊を用意しています。玄関にある笹に願いごとを書いて飾ってください。
虫による皮膚トラブルが発生しやすい時期です。ぜひ診察時、ご相談ください。

感染症情報	前回	今回 5/28~6/30
アデノウイルス	5	11 ↑
溶連菌感染症	8	16 ↑
感染性胃腸炎	95	151 ↑↑
水痘(水ぼうそう)	3	9 ↑
ヘルパンギーナ	2	2 →
手足口病	31	112 ↑↑
RSウイルス	3	0 ↓
突発性発疹	19	21 ↑
おたふくかぜ	1	6 ↑
インフルエンザA	4	6 ↑
ロタウイルス	3	0 ↓
ヒトメタニューモウイルス	1	0 ↓

LINE@



流行情報、休診のお知らせ、ワクチン入荷など、気になる情報をLINEでお届けします。

お友だち登録をお願いします！
▶LINEのID検索から @rx13847o

いけざわこどもクリニック

小児科・アレルギー科



住所	合志市野々島2461 (コーパレス弁天 北側)
TEL	096-242-6633
ホームページ	http://www.ikezawa.org/
PC予約	http://ssc.doctorqube.com/ikezawa/pc/index.html
Mobile予約	http://ssc.doctorqube.com/ikezawa/
診療時間	9:00~12:30 / 14:30~18:30
休診日	木曜・土曜午後・日曜祝日



予約用QRコード →

チックはサイン

皆さんは「チック」という言葉を聞いたことがありますか？

まばたきや(運動性チック)咳払い(音声チック)などが特徴的なチック症。本人の意思に関係なく、突然繰り返し出てしまう症状です。チックは乳幼児期から学童期にかけ、心と体の成長発達の過程で10%~20%の子どもが発症するといわれています。私もこれまで何人もチックのお子さんに出会いましたが、おとなしく優しい性格の子が多く、不安や緊張を感じやすい印象です。お母さんは責任感が強く「よく『ちゃんとしなさい』と言っているかも」先日先日は『下の子が生まれ、この子には『ちょっと待って』と言っただけでした』という方がいました。しかし、忙しいと私たちもこんなセリフはつい口にしてしまいがち。



その時、その子が比較のおとなしい子だと、グッと我慢をして心はしぼんでしまうでしょう。今思えば、私たちも開業しているという環境で、子どもには相当我慢もさせましたし、上手に愛せていたのかは疑問です。我が子はたまたま症状が出なただけで「心のチック」は起こっていたのかもしれない……。その時のサインをきくと私は見逃したと思うのです。

だからこそ・・・

「気付いてよかったですね、気付けただけで良かったですよ」
そういうとほとんどの方が泣いてしまいます。自責の念にとらわれ、また純粋に子どもを思う気持ちで涙があふれるのでしょうか。それに、やはり愛情があるから気付いてあげられるのですよね！子どもの為、家族の為に思い、精一杯になってしまう生真面目なお母さん。忙しい中でもバランスの良い食事、洗濯、掃除・・・やるべきことが日々溢れ、生活が続かぎり、家事には決して終わりがありません。

今、我が子がどんな気持ちなのか？目に見えたらどんなにいいでしょう。

中にはサインを出せず、ずっと苦しんでいる子もいるかもしれません。ストレス社会の中で、家庭はしつけの場でもあります。母親は心から安らげ、甘えられる存在でありたい。肌に触れる手触り、温もり、こうした素朴なお互いの感覚の共有に、子どもは安らぎを覚えていくのだと思います。

もうすぐ夏休み。
何かと気忙しい食事作りも大変ですが、陰い顔で家事をこなすより時には手抜きをしても子どもと扇風機の前でゴロゴロして笑っている。そんな時間を作ってみてはどうでしょう (*^_^*)



文責 池澤千恵子